

あおぞら21



田上忍議員へ辞職勧告決議案 全会一致で可決(9月会議)… 2
仮設はいつまで(一般質問) …………… 10

表紙：若宮神社 200年以上前から伝わると言われる通し物(10月9日)

9月定例会
29年10月31日
No.121

熊本・みふね町議会

田上忍議員へ辞職勧告決議案 全会一致で可決

9月会議を14日から22日まで開催した。専決2件、また平成28年度決算（8件）、補正予算（8件）、工事請負契約など議案等24件を審議採決、陳情2件を採択（1件は一部採択）した。

また、藤川博和議員ほか11名の議員から田上忍議員への辞職勧告決議案が提出され、全会一致で可決した。

9月議会で決まったこと（9月14日～22日）

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
報告 8	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	財政健全化判断比率等の報告	有	報告
承認 1	専決処分の報告及び承認について	熊本県市町村総合事務組合の規約の一部変更	無	全会一致で承認
認定 1	平成28年度御船町一般会計歳入歳出決算について	歳入合計 15,395,416,312円 歳出合計 14,330,234,969円	有	全会一致で認定
認定 2	平成28年度御船町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 3,032,307,433円 歳出合計 2,906,514,662円	有	全会一致で認定
認定 3	平成28年度御船町介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 1,850,324,158円 歳出合計 1,751,628,419円	無	全会一致で認定
認定 4	平成28年度御船町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 178,459,326円 歳出合計 171,296,181円	無	全会一致で認定
認定 5	平成28年度御船町緑の村運営事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 138,113,090円 歳出合計 13,040,896円	無	全会一致で認定
認定 6	平成28年度御船町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 456,385,530円 歳出合計 443,132,510円	無	全会一致で認定
認定 7	平成28年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 69,217,805円 歳出合計 67,148,796円	有	全会一致で認定
認定 8	平成28年度御船町水道事業会計歳入歳出決算について	(収益的収支及び支出) 歳入合計 3,250,480,721円 歳出合計 3,009,137,122円 (資本的収支及び支出) 歳入合計 17,163,000円 歳出合計 129,912,635円	有	全会一致で認定
議案 19	工事請負契約の締結について	町道植木原竹下線(小坂橋)橋梁災害復旧工事	無	全会一致で可決

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 20	工事請負契約の締結について	町道滝川橋線(滝川橋) 橋梁災害 復旧工事	無	全会一致で 可決
議案 21	工事請負契約の締結について	恐竜博物館震災復旧工事	無	全会一致で 可決
議案 22	工事請負契約の締結について	御船町防災情報伝達施設整備工 事	有	全会一致で 可決
議案 23	御船町避難行動要支援者名簿に関する条 例の制定について	災害時における避難支援者の名 簿の共有(関係機関)	無	全会一致で 可決
議案 24	御船町一般職の職員の給与に関する条 例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく改正	無	全会一致で 可決
議案 25	御船町企業立地の促進等による地域にお ける産業集積の形成及び活性化に関する 法律第10条第1項の規定に基づく準則を 定める条例の一部を改正する条例の制定 について	法律の一部改正に伴う条例の一 部改正	無	全会一致で 可決
議案 26	平成29年度御船町一般会計補正予算(第 3号)について	熊本地震等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 17,319,890千円	有	全会一致で 可決
議案 27	平成29年度御船町国民健康保険事業特別 会計補正予算(第2号)について	給付費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 2,819,146千円	無	全会一致で 可決
議案 28	平成29年度御船町介護保険事業特別会計 補正予算(第2号)について	給付費等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 1,793,615千円	無	全会一致で 可決
議案 29	平成29年度御船町後期高齢者医療事業特 別会計補正予算(第1号)について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 209,322千円	無	全会一致で 可決
議案 30	平成29年度御船町緑の村運営事業特別会 計補正予算(第2号)	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 15,539千円	有	全会一致で 可決
議案 31	平成29年度御船町公共下水道事業特別会 計補正予算(第1号)について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 468,373千円	無	全会一致で 可決
議案 32	平成29年度御船町情報通信基盤施設運営 事業特別会計補正予算(第1号)について	総務費に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 75,491千円	有	全会一致で 可決
議案 33	平成29年度御船町水道事業会計補正予算 (第2号)について	水道事業費に係る補正予算 予算総額 収益的収支及び支出 支出 323,062千円	無	全会一致で 可決
陳情 4	上野・田代ため池事業に関する要望書につ いて	ため池の漏水防止対策	有	全会一致で 一部採択
陳情 5	陳情書 上野インター(仮称)設置に伴う 中山間地域振興策について	中山間地域振興策	無	全会一致で 採択
発議 2	田上忍町議会議員への議員辞職勧告に関 する決議案について	田上忍議員への議員辞職勧告	有	全会一致で 可決

報告第8号

財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

実質公債比率は改善したが

中城議員 実質公債費比率が、27年度6.5%から5.9%と0.6%改善されているが理由は。

坂本企画財政課長 実質公債費比率は過去3年間の平均で28年度の減少は、緊急経済対策事業の起債に伴う交付税措置があったこと、上益城消防組合の地方債に充てる負担金の減等がある。来年からは起債の元利償還金が増加してくるので上がってくる。

中城議員 将来負担比率は悪化している。地方債の28年度期末残高は幾らか。

坂本課長 28年度末の地方債残高は、102億9,896万4,000円。

中城議員 今後財政健全化に向け、どのような取り組みはされるのか。

坂本課長 28年度は熊本地震の災害復旧工事で起債が増加した。

今後起債残高を減らすため、可能な限りの歳出削減と合わせ、歳入確保の施策を講じていく。

承認第1号

平成28年度御船町一般会計歳入歳出決算について

歳入

熊本地震における財源措置は

福永議員 町税は1億円を超える減少となっているが、減免で落ち込んでいる分は幾らか。また国や県からの交付税措置はあるか。

宮崎税務課長 町民税が8,914万、固定資産税が4,162万円である。

坂本課長 熊本地震は激甚災害に指定され、地方税の減免を行う場合は、歳入欠かん債の対象となり、1億4,700万円の81.5%が交付税措置される。

中城議員 地方交付税が約33億、27年度より7億6,800万円増加している。逆に、地方債は災害復旧事業債で27年度末より32億円ほど増加している。災害復旧の事業債は全額交付税で措置されるのか。

坂本課長 熊本地震に係る事業に対して、起債を借り入れた部分の85%から95%程度は交付税措置として返ってくる。

竹バイオマスの未収金は

藤川議員 過年度収入の収入未済額の3億79万8,135円の中に、地域バイオマス利活用補助金は幾ら入っているか。

坂本課長 地域バイオマス利活用補助金の返還金、2億9,279万3,000円から強制執行による回収金が61万6,856円、破産手続きによる配当金659万9,786円を控除した未収金2億8,557万円が含まれている。

藤川議員 竹資源会社は倒産した。今後この未収金の回収はどうするか。

坂本課長 御船竹資源開発株式会社は29年3月27日付けで破産手続きの終結をした。

この収入未済額は御船竹資源開発株式会社に対しての請求債権であり、会社からこれ以上の回収が見込めないということから、今後債権放棄の議案を上程する方向で検討していく。

藤川議員 会社の債権を全額放棄することによって、この債権がなくなる。そうすると、前町長に対する債権はどうか。

るか。

坂本課長 前町長に対する9,279万3,000円の損害賠償請求権については現在裁判で争っている状況である。

財政調整基金の残額は

中城議員 財政調整基金が一時底をついていたが28年度末では幾らか。

坂本課長 財政調整基金の28年度末の残高は、8億6,263万8,000円となっている。

歳出

総務費

支出が増えた理由は

福永議員 歳出は27年度比で支出済額が約2.1倍となっている。この増額部分で熊本震災対応分はどの程度か。

坂本企画財政課長 143億円ぐらいの支出済額があるが、その中で熊本地震関連は約半分である。

中長期人材支援の財政措置は

福永議員 中長期的な人材支援制度は財政的支援措置が受けられるのか。

吉本総務課長 全体の8割程度が特別交付税で措置されると考えている。

公共交通網などの見直しは

福永議員 熊本地震復興計画策定委託料が約1,000万円出ているが、委託先はどこか。

また、地方バス、コミュニティバスに関する補助金があるが、公共交通網の整備を含め、抜本的な見直しの時期に来ているのではないか。

坂本課長 御船町熊本地震復

興計画策定委託の委託先は玉野総合コンサルタント株式会社である。また地方バス、コミュニティバスのあり方については今後何らかの検討委員会を立ち上げ、進めていきたい。**岩永議員** 職員の時間外勤務手当は月別にきちんと把握しているか。

時間外手当については

吉本課長 時間外手当については、条例に基づき記録し、月別に計算して支出している。**岩永議員** 時間外労働の現状はどうか。

吉本課長 1カ月当たり200時間を超えている月が何カ月に及ぶ職員もいた。

限界を超えていた時期もあったので精神科の先生に指示・指導を受けたところ。

今後は十分注意しながら改善に取り組んでいきたい。

岩永議員 町長を含めて職員の健康状態を見てほしい。

民生費

中城議員 特別会計の運営ができたということだが、どう考えているか。

道山福祉課長 介護保険特別会計は、今回介護保険料の減免と利用料の減免があったが、28年度は国にすべて補填していただいた。介護保険は、その関係とは別に、熊本地震によって要介護者が増えた。その要介護者が増えた分、介護サービスの利用が増えたことで、町の負担分12.5%が増えた。介護特別会計に約600万円、包括分で2,000万円ほど。地震の影響による要介護が増



老人憩いの家

えたことでの2,700万円が介護保険では増加している。

老人憩いの家はどうするか

田上議員 老人憩いの家、今後の運営はどうか。

道山課長 29年度はツルカメ企画に1年延長でお願いしているが、来年度の結論はまだ結論が出ていない。来年度は、指定管理は行わない。12月議会の町政報告の中で報告する。

人数が増えた学童保育はどうする

田上議員 学童保育の施設的设计委託料の説明を。

野口こども未来課長 小坂の学童クラブの利用者が増えたので2つに分けるための委託料となる。

田上議員 他の学童も人数が結構増えているがどうか。

野口課長 他の学童で増えているのが木倉、高木、御船小である。増設また何らかの措置をしなくてはならない。

衛生費

解体は3月末までで完了

中城議員 災害ごみの処理で

34億円という支出があるが、二次置場への搬出はスムーズか。

緒方環境保全課長 問題はない。二次置場は4月末に閉鎖の予定。一次置場は、10月31日で閉鎖する。閉鎖後は、木材と瓦、コン廃は、個別の処分場に持ち込むようになる。

中城議員 全額自己負担か。

緒方課長 今回の解体については、全額、自己負担はない。

個別の処分場とは、民間の処分場になる。解体は業者が行い、業者が民間の処分場に搬入する。個人では持てはいけない。

田上議員 解体は10月末ですべて終わらせるとあったが、3月になったのか。

緒方課長 10月末というのは、一時仮置場、町民グラウンドの閉鎖が10月末であり、解体は来年の3月まで予定をしている。

田上議員 すると、10月までに申し込みができなかった方も、この後申し込んでもいいのか。

緒方課長 解体の申し込みは原則3月末で一応締め切りとしている。罹災証明の発行が未了の方は受け付けを行っている。



災害ごみ一次置き場。

農林水産業費

森林の間伐は

清水議員 森林・林業・木材産業基盤整備事業補助金の使い道の説明を。

藤野農業振興課長 町内の製材業者からの申請で行っている。補助金として、国が2分の1以内、県が一部負担をしており町の負担はない。

鳥獣害防止総合対策

岩永議員 鳥獣害防止総合対策事業補助金の説明を。

藤野課長 イノシシの駆除の報償で、昨年度は340頭。1頭当たり3,000円の支出をしている。鳥獣害防止総合対策事業補助は御船町鳥獣被害防止対策協議会への補助金であり電柵の整備、それに対する補助及びわな等の免許を取得するための補助に使っている。シカに対する捕獲にも協議会が補助を行い、28年度は25頭分を支払っている。

有害鳥獣駆除対策補助金は御船町猟友会御船支部への補助金である。

岩田議員 電柵は補助をいただき十数年になる。今ではもう電柵では追いつかないので、

昨年から今年と、中山間整備事業直接払いでメッシュで行ったら大変効果があった。補助をメッシュに切り替えができないか。

藤野課長 国への要望等も進めながら、来年度以降検討していきたい。

岩田議員 このメッシュは、山都町が70%ぐらい進んでいる。

被害にあった農地の活用は

田上議員 熊本地震で被害にあった農地の今後はどう考えているか。

藤野課長 耕作可能な土地は極力農災等で申請をしていたら、何とか耕作をしていただきたい。復興基金による

農地の自力復旧の支援事業もあるので、営農を継続していただきたい。守るべき農地はしっかり守っていく方針でやっている。

田上議員 副町長は農業に詳しいというが何か考えはありますか。

本田副町長 大変難しい問題だ。だから、早く自力復旧をしていただきたいということで、いろんな補助金を使いながらやっている。義援金の問題も、県からの配分が残った分もあるかと思うが、なるべく自力復旧とか、そういうのができないかということだ。そういう金を少しでも使って、できるだけ復旧をするような形に持っていきたい。農地の補助金にならなかったところが一番問題。そこらあたりをどうするか、今町長と考えて、できるだけそこらあたりをそちらに回して、そして、そういう農家の復旧のために使っていくならと第一番目に考えている。

ただ、やっぱりどうしてもできないところは、平坦部の場合は、大豆を植えたり、あるいは飼料イネを植えたりして、復旧をしていただきたい。



山間部の農地

平坦部も今年は大変荒れていたが、今の段階で、工事の発注も先月終わった。だから、ある程度平坦部は復旧ができるようになる。

山間地の場合は、どうしても段々であるから、難しい問題がある。私は農協に申し上げて、今年はできるだけカボチャでもということ、植えていただいた。しかし効果がないような感じもする。今後はこの問題をどうするかが一番頭の痛い問題である。今後皆さん方のお知恵を借りながら復旧に全力を挙げたい。そして耕作放棄地ができるだけないように頑張っていきたい。

一般会計補正予算(第3号)について

災害公営住宅(100戸)はどこに作る?

沖議員 災害公営住宅はどこに作るのか。決まっているのは御船1丁目と古閑迫(上野)か。

藤木町長 1丁目は設計に入っていて、上野は用地交渉に入っている。また、小坂、高木地区は用地を選定している。

沖議員 仮設住宅の木造の分160戸はどうするのか。

藤木町長 この160戸をどうするかは検討中だ。それを公営住宅や災害公営住宅にするにしろ形状が変わってくる。御船町にうまく使えるかを最終段階として返答したい。

沖議員 仮設の木造をどうするかを決めないと、災害公営住宅の軒数は決まらない。

藤木町長 アンケート調査を通して災害公営住宅を何戸建てるか。それに今ある木造の仮設住宅をどれくらい利用できるかだ。

中城議員 町として災害公営住宅を100戸建てる計画だが、古閑迫で12戸、一丁目に35戸だとすると、あと53戸建てる必要がある。木造仮設が甘木に8戸、小坂に約20戸あるから、ここの用地交渉はどうなっているのか。

松岡建設課長 高木と小坂の木造仮設の用地交渉は、まだ行っていない。

中城議員 どこに用地を見つけようと思っているのか。

藤木町長 ある程度は決まっている。今から木造住宅のあるところに打診を行う。復興予算が町にある程度おりてきた。御船町で買うか、借りるかの財源がやっと示された。9月1日から建築士2名と土木技師1名が確保できた。今からスタートする。

中城議員 用地交渉に専門的な技術職がいるのか。

藤木町長 木造仮設はそのまま利用することはできない。土地の問題、部屋割りの問題も解決しなければならない。災害公営住宅として使うのであれば、今から考えなければならない。

※災害公営住宅とは…災害で家屋を失い、自力で住宅を確保することが困難な被災者のた

めに、地方公共団体が国の補助を受けて供給する住宅。災害復興住宅ともいう。

吉無田高原「緑の村」にドーム型キャビン(地方創生拠点整備交付金事業)

沖議員 緑の村にドーム型キャビンを作って、地域を巻き込んで総合的に吉無田を開発する計画はどこまで進んでいるか。

作田商工観光課長 設計がまだでき上がっていない。

沖議員 最初はツーバイフォーで作るだった。今度はドーム型に変更するという。どうなっているのか。

作田課長 事業費が平成28年度の繰越だから平成29年度内には仕上げないといけないので見直しをしている。

沖議員 1億2,000万円の事業だ。あと7か月しかないが、今から設計に出して間に合うのか。

作田課長 年度内の完成を目指す。

地域おこし協力隊の活動は

沖議員 地域おこし協力隊はどのような形で募集するのか。

坂本課長 こういう事業で活躍できませんかという形で募



吉無田高原

集をかける。

沖議員 地域おこし協力隊は3年間の任期中、吉無田高原の活用に関する仕事をするとう理解していいか。

坂本課長 地域おこし協力隊(1名)は、「NPO法人愛郷吉無田」で雇用する。ドーム型キャビン、周辺の宿泊施設、食材の提供等、田代東部地区、吉無田周辺の地域活性化に携わる。

沖議員 吉無田高原の化石広場、それからマウンテンバイクとのつながりは?

坂本課長 緑の村を活用した事業、イベントを愛郷吉無田で行うことになるから、そういう事業に携わっていく。

被災した中原団地とその他の町営住宅の今後について

沖議員 中原団地の災害復旧事業の最終的な経費は幾らになるか。それと町営住宅の解体が済んだところがあるが、その跡地はどうするのか。

松岡課長 大規模盛土造成地滑動崩落防止事業が2億300万円、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業が5,600万円、住戸の災害復旧が4億4,500万円、他に県が行う災害関連緊急急

傾斜地崩壊対策事業が1億5,000万円、すべての事業費を合計すると8億5,400万円ほどになる。

藤木町長 町営住宅の跡地については、災害公営住宅を建てようと思う。売却可能な土地は売却していく。

沖議員 全部で町営住宅は440戸、それに木造の仮設住宅が160戸ある。今回新しく災害公営住宅を100戸作る計画だが、その中で町営住宅は何戸にする予定か。

藤木町長 県は災害公営住宅と町営住宅は別物と考えている。しかし、本町はこれを全く別物と考えて作るわけにはいかない。木造住宅が160戸ある。これをどちらにでも利用できないかと考えている。

池田議員 中原団地は住宅の復旧と道路、法面の復旧、それから建屋の解体に入るといいうが、事業としては4事業になるが大丈夫か。

松岡課長 中原団地は4つから5つの事業になる。それに解体も加わるが、今年度解体するということではない。平成30年度以降、社会資本整備総合交付金といった交付金を活用して進めていく。

池田議員 適正工期の発注をお願いする。

清水議員 中原団地復旧の財源はどこから持ってくるのか。

坂本課長 委託料と工事請負費を合わせ、今回の9月補正で4億7,500万円を計上している。そのうち、国庫補助金が3億7,497万7,000円、起債が8,000万円だ。残り約2,000万円が一般財源からの支出になる。

清水議員 中原団地を作った時の起債償還は終わっているのか。

坂本課長 あと2年で大体終了する。

清水議員 税金の無駄遣いのような気がする。藤木町長としては、中原団地をどうして行くのか。

藤木町長 中原団地については多方面から協議を行ってきた。その中において、今回災害対策で行っていくのがベストと考える。

町民グラウンドはどうなる?

井本議員 町民グラウンドの設計委託料が計上されているが。

宮川社会教育課長 現在町民グラウンドはごみ集積場になっているが、10月には閉鎖する。グラウンドの土を30センチから40センチぐらい撤去し入れ替える。そして、法面とナイター施設、倉庫、フェンス、ベンチ、側溝等を復旧させる。その設計費用を上げている。

井本議員 町民グラウンドは被災して安全面からグラウンドとしての使用はできないと思っていた。町民グラウンドとして復活するのか。



災害公営住宅予定地 (上野)



中原団地

宮川課長 屋外競技場は町民
グラウンドしかない。社会体

育施設として復旧したい。

藤木町長 震災直後は亀裂が

入り使えないだろうというところ
に進んできたが、防災公園
としてのグラウンドを整備
するまで、土の入れ替え、周
りのネットやバックネットを
整備して町民の憩いの場、ス
ポーツの場として利用したい。

井本議員 町長が平坦部に防
災公園グラウンドを整備する
と言っているが、それには多
額の費用がかかる。町民グラ
ウンドが使用可能であれば、
手を入れてそこを長く利用す
べきだ。どこの町村を見ても
高台が避難場所になっている。

辞職勧告決議

賛成討論

清水議員 決議案にもあるとおり、
田上議員個人のブログにおいて義援
金を募集する必要はなかったと思
います。議会報告会がなかったら、
町民から指摘がなかったら、そのま
まだったかもしれません。しかしな
がら、町民から政倫審の条例に基づ
き、調査請求がなされました。

この調査結果回答を受け、全員協
議会を開き、田上議員に対し、再三
証拠書類を添え、説明する機会を設
けました。が、納得のいく説明はな
されませんでした。

よって、政倫審の調査会の内容は
事実であると結論付けざるを得ませ
んでした。

田上議員の行為は、町民全体の代
表者として、自らを律すべき立場で
あり、議員としての品位や名誉を損
なうものであることは明白です。議
会の名誉と品位を守り、町民の信頼
回復を得るため、田上議員に対し、
辞職勧告決議案に賛成いたします。

田上忍町議会議員への議員辞職勧告に関する決議

田上忍町議会議員は、熊本地震発災後に個人のブログに
おいて独自に義援金の募集を行った。

そして、この行為及び集められた義援金の使途に対し、28
年度に行われた議会報告会にて参加者から「議員がこのよ
うなことを行ってもよいのか」など質問があり、また議会
に対しても同様の質問が提出された。

その後、この件について町民から御船町政治倫理条例に
基づき調査の請求がなされた。

御船町議会は、平成29年6月1日付けで提出された調査結
果回答書を受け、複数回にわたり当該議員に全員協議会に
おいて事実確認を求めたところである。

しかしながら、釈明の機会でもあった全員協議会におい
ても、提出された資料や本人の説明ではその疑義を払拭す
ることはできず、また議会が求めた領収書の開示について
も、存在は認めたもののすべてを開示するに至っていない。

このことは、御船町政治倫理条例に明記のある議員の職
責を果たしていないことになる。

議員は、議会自ら制定した御船町議会議員政治倫理条例
違反のみならず、公職選挙法、政治資金規正法などに抵触
する疑いを御船町政治倫理審査会から受けており、このこ
とは議会に対する信用を大きく損なったと言わざるを得ない。

ついで、議会の名誉と品位を守り、町民の信頼回復を
図るため、御船町議会は当該議員に対して、御船町議会議
員を辞職するよう勧告する。

以上、決議する。



Q仮設はいつまで

A意向調査の結果を踏まえて最大限の努力をする

福永 啓 議員

福永議員 現在、約2,000人の町民が仮設で暮らしている。仮設の入居者はいつまで仮設にいたることが出来るのか。

藤木町長 法的には2年間だが、県に対して1年間の期間延長を要望している。意向調査を繰り返し行い、どの方がどこにどういった再建をしていくのかということ把握していく。私の在任中は、行くあてのない方々に対して最大限の努力をしていく。

福永議員 基本的に延長期間は、自力再建することが決まっている方はその再建先に入居できるまで、災害公営住宅等に入居を希望されている方は災害公営住宅ができるまで、にならざるを得ないと思うが、全く何も決まっていない方、自力再建したいがその目処が立たない方などについては、いつまででも入居期間を延長出来るのか。

坂本企画財政課長 そういうことではない。長期間無償の応急仮設住宅を日常生活の場として供与しつづけることが、かえって被災者の自立を阻害するようなことになってはならない。災害公営住宅の確保が一つの目安となる。

福永議員 災害公営住宅の家賃だが、東日本大震災の場合、

低所得者の家賃は通常の公営住宅の数分の一まで軽減されている。熊本地震ではどうか。

松岡建設課長 東日本大震災と熊本地震は災害公営住宅の補助制度に大きな格差があり、東日本大震災並みの大幅な家賃の低廉化は非常に厳しい。しかし、町として、特に低所得者の方々に対して、家賃の低廉化は必要であると考えているので、可能な限りの対応をしていきたい。

福永議員 町営住宅の整備と、災害公営住宅の計画とは一体的に進めなければならない事業でもある。現時点で町営住宅のどこを今後も維持し、どこを廃止していく計画か。また、廃止予定の町営住宅に住んでいる方々にはどう対応す

るのか。

松岡課長 中原住宅、玉虫団地、辻団地、七滝、計4団地、約200戸については今後も町営住宅として利用していく計画となっている。それ以外の17団地、約200戸については、用途廃止を計画している。用途廃止予定の町営住宅の中には、半壊以上の判定を受け、取り壊しを予定しているものもある。そのような町営住宅の入居者は災害公営住宅もしくは一時的にでも仮設住宅への転居を進めていきたい。それ以外の老朽化した町営住宅の入居者に関しては、段階的になるが、公営住宅建替事業の制度を利用し、代替えの住宅を提供し、移転を進めていきたい。



入居から1年が経過したふれあい広場仮設住宅

Q 防災行政無線の整備、なぜ今になったのか

A 防災行政無線より優先される事業があったと予想される

森田 優二 議員



一
般
質
問

熊本地震で一番困った事は

森田議員 熊本地震及び豪雨災害で、町長が一番困ったことは。

藤木町長 すべてに困ったが、防災行政無線が無かった事だ。

避難所と備蓄品は問題なかったか

森田議員 災害時の避難所と備蓄品は問題なかったのか。

吉本総務課長 御船川左岸地区は特に整備が遅れている。今後検討していく予定だ。

備蓄品は、計画はしてあるが購入はしてなかった。

森田議員 防災計画にあり備蓄品が無いのは、行政の怠慢と言われても仕方ない。今は6ヶ所の備蓄倉庫に準備してあると聞いて、町民も安心したと思う。

危機管理体制は問題なかったのか

森田議員 発電機は作動したのか。

吉本総務課長 停電と同時に作動した。しかし水冷式発電機の為、断水で冷却水が循環停止になりオーバーヒートを起した。その後、冷却水の補給をバケツリレーで行い復帰できた。

国の事業が終了でも出来なかった防災行政無線整備事業

森田議員 山本前町長は県に光ファイバーで代用する話を

されていたと聞いたが代用できるのか。

吉本課長 交付金の目的外使用になる為代用できない。

森田議員 この事業は、平成27年度で終了とわかっていたはず。県から最終確認をされても防災行政無線事業計画は実行されなかった。安心・安全な町、災害に強い町づくりに、防災行政無線よりも必要な事業は何かあったのか。

吉本課長 以前のことで特定するのは難しい。

森田議員 議案にも出されなかった事業だが、藤木町長は必要性を重視し総務省に何度も要望活動に行かれ、国も昨年の地震で事業の延長を決定され、町の入札もできた。町の負担は何割か。

吉本課長 約3割程度である。

消防団の安全確保はできているか

森田議員 消防団の体制と資機材は問題なかったのか。

吉本課長 問題はあった。今後、資機材の整備を進めていきたい。

森田議員 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸付制度があるが応募はしたのか。

吉本課長 していない。平坦と山間に2台要望したい。

処遇改善は行われているのか

森田議員 団員の処遇は20年前と変わらないが団員からの

苦情はないのか。

吉本課長 苦情はわからない。県平均よりかなり低いのは気にしている。

森田議員 上益城郡自体低い金額である。出動手当も国の半分以下である。今後早急に検討するのか。

吉本課長 毎月分団長会議と幹部会議を行っている。情報収集に努めていきたい。今年度は安全性の高い手袋を購入した。今後は安全確保の為安全靴等を整備したい。

中原団地の災害復旧の計画は

森田議員 中原団地について、大規模盛土関係の工期の完了予定は。

松岡建設課長 28年度の繰越分は30年3月完了。29年度の事業は、30年の8月頃に終了予定。

森田議員 入居者への説明会は何回したのか。

松岡課長 去年は5月1日と5月29日の2回。9月26日に説明会を計画している。

森田議員 職員は不足しているが、町民が安心して暮らせる御船町に向け、早期復旧・復興に頑張っていたいただきたい。



(今)復興という言葉を見つめて

かがやく



被災者一人ひとりが、自分らしく安心して暮らせる事が本当の意味での復興だと思う。

地域に命を吹き込むのも「人」、支え合うのも「人」。

辛く悲しく先の見えない不安、そして心細い思いをし笑顔を忘れた私達、その笑顔を取り戻す為に、心ひとつに強い絆で結ばれた私たち、心ひとつに決して誰一人として、置き去りにしない。

人は支え合ってつながって行く。いつの日かこんな事があったねと、話せて行こう、一歩ずつ!!

支え合おう御船、立ち上がろう宗心原、心ひとつに!!

熊本地震から一年六か月が過ぎ、心原地区の家屋解体もようやく終わりました。宮崎県小林市の建設業組合のボランティアの皆様には、地震後すぐ

にダンプカー五台で駆けつけていただき、家の周りの瓦や瓦礫の片付け、道路に倒れたブロック塀等の撤去、また三重県からはブルーシートの張り替えで来てくれました。大規模半壊の公民館に寝泊まりしながら一週間、雨の中でも命綱つけて補修していただきました。

更地になった場所を見ていると、こんな小さな地区でもお互い支え合って生活していたんだなあ、と淋しさの中、見えない糸、絆で結ばれていた事を思い知らされました。

今、地区では家の新築、補修が始まっています。一人でも多くの人が帰って来られることを願うばかりです。

皆の協力があったからこそ、ここまですべて出来ました。これからも人と人のつながりを大切に一歩ずつ復興に向かって頑張ってくださいませよう!!



宗心原 富永敏美さん (宗心原区長)

議会の予定 11月

- 1～2日 監査委員全国研修
- 5日 消防団非常呼集
- 6日 全員協議会(予定)
- 9日 議会(予定)
- 13～15日 全員研修 (北海道むかわ町・東川町)
- 16日 広報委員研修 (県議長会主催)
- 19～23日 議長全国大会等
- 21～22日 監査委員研修 (郡監査協議会主催)
- 28～29日 上益城消防組合 議会視察研修(福岡県)

編集後記

会議を終え帰路を急ぐ慣れとは恐いもので、「あっ」通行止めだったと気付いた時にはいつも通りだと家まで3kmの地点、引き返すには10km以上ある。やむなく林道(約4km)を通ることにした。昼間でも人気は無く、おまけに地震で段差や崩落した所もある。「こわいなー」と思ながらもがらもひたすら車を走らせる。「出た!」猪の母子5頭が食事中だった。ライトの光に驚き、一目散に土手をかけ登る一頭が滑り落ちた。勢いをつけてもう一度チャレン

ジ!!、やっとはい上がり無事仲間と合流。ホッとしながらも必死に駆け登る姿が愛らしくもあり、こっけいでついつい笑ってしまった。昼夜通行止めの場合、周り道にも配慮が欲しい。

清水 聖

議会広報編集特別委員会

- 発行責任者 | 田端 幸治
- 委員長 | 岩永 宏介
- 副委員長 | 中城 峯雄
- 委員 | 岩田 重成
- 委員 | 清水 聖
- 委員 | 田上 忍
- 委員 | 森田 優二